

農地整備事業(経営体育成型)

土地改良事業計画概要書（第 1 回変更）

（ 農業用排水施設 ）

県	区	名	岩	山	・	犬	吠	手
地	在	名	星	波	郡	紫	波	森
所		地	紫					町
事	業	体	岩			手		県

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

— 目 次 —

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農の状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第6節	道路状況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第2節	環境への配慮	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第1節	換地計画樹立の必要性	7
第2節	換地計画樹立の基本方針	7
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	8
第4節	非農用地の換地方法	9
第6章	費用の概算	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	11

第1章 目 的

上段:変更後
下段:変更前

本計画区域は、紫波町中心部より東約2kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯で、旧星山、犬吠森、大巻集落として一体的な地域である。

構造改善事業（昭和43年～昭和44年）により30a区画に整備され、土地改良総合整備事業（平成3年～平成10年）により、用水路パイプライン化及び排水路装工された地域であるが、取水源である揚水機場及び地区内へ導水する幹線用水路は老朽化が著しく維持管理に多大な費用と労力を要している。

これらを解決するため、揚水機場及び用水路の更新整備を行い、水管理及び維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につなげ、農業経営の安定化を図るものである。

地区面積

(単位: ha)

市町村名	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
紫波町	202.7		〃	202.7			202.7
	221.1		-	221.1			221.1

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

本計画区域は、紫波町中心部より東約2kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯で、旧星山、犬吠森、大巻集落として一体的な地域である。

第2節 現 況

上段:変更後
下段:変更前

第1項 地形、地質及び土壌

本地区は、一級河川北上川の左岸平地部に連坦した水田地帯で、地区の下流末端は北上川左岸に接している。地形傾斜は、東西方向
113m
に北上川に向かって1/340程度、南北方向は南へ1/420程度の傾斜を成し、標高は89m～115m程度となっている。

母材は非固結堆積岩、固結火成岩、固結堆積岩で、堆積様式は水積、洪積世堆積残積、崩積である。土壌は黒泥土壌粘土型（C
21）、灰褐色土壌強粘土構造型（G60）および黄褐色土壌壤土マンガン型（I83）である。

第2項 気 象 (1) 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成21年2月版)

観測所名	紫波気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H25年～R4年 H10～H19年	" 月 ～ " 月 5 8	" 月 ～ " 月 9 4		
平均気温 (℃)		20.6 19.3 ℃	6.2 5.7 ℃	11.0 10.2 ℃	
降水量	平均 (mm)	614.5 604.2 mm	679.9 728.9 mm	1,294.4 1,333.1 mm	
	基準年 (mm)	" — mm	" — mm	" — mm	
降水日数	平均 (日)	45 48 日	82 97 日	128 145 日	
	基準年 (日)	" — 日	" — 日	" — 日	
根雪期間		" 月 " 日 ～ " 月 " 日 — —	" 月 " 日 — —	" 日間 —	
無霜期間		" 月 " 日 ～ " 月 18 日 5 3 10 20	" 月 18 日 10 20	169 171 日間	
最多風向		S S S W	最大風速 (風 向)	20.1 10.0 m/sec " —	

(2) 特殊気象

上段:変更後
下段:変更前

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成21年2月版)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
紫波気象観測所																
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	222	S13 8/15	1/390 1/387	220	H19 9/17	1/366 1/364	211	H25 8/9	1/275 1/267	210	T9 8/9	1/266 1/21	135	S15 9/4	1/20	
M34年～R4年 M34年～H19年																
最大時間雨量 (mm)	69.5	H27 6/16/16	1/80	64.5	H25 8/9/11	1/56	52	H13 8/3/21	1/22	52	S35 8/10/16	1/22	51	H6 9/30/11	1/20	
S31年～R4年 S31年～H19年	52	H13 8/3/21	1/26	52	S35 8/10/16	1/26	51	H6 9/30/11	1/24	49	S60 9/7/19	1/20	46	H19 9/10/6	1/18	
最大4時間雨量 (mm)	196	H25 8/9/13	1/38	164.5	H25 8/9/14	1/34	160	H25 8/9/12	1/34	111	H25 8/9/11	1/110	98	H27 6/16/17	1/48	
S31年～R4年 S31年～H19年	82	H19 9/10/8	1/38	81	H19 9/10/9	1/34	81	H16 9/30/12	1/34	78	H19 9/10/7	1/26	77	H16 9/22/4	1/24	
最大3日連続雨量 (mm)	359	T9 8/10	1/804	340	T9 8/9	1/546	265	T9 8/11	1/108	238	S13 8/15	1/58	231	M43 9/3	1/49	
最大連続旱天日数 (日)	55	S18 6/19	1/-	40	S21 7/16	1/351	39	S3 7/18	1/237	37	H11 7/18	1/113	36	S53 6/29	1/80	
M34年～R4年 M34年～H19年																

第3節 水 利 状 況

上段:変更後
下段:変更前

第1項 用水状況

〃

本地区の水源は、一級河川北上川の他、溪流水である。北上川からの取水は揚水機による取水となっている。
地区内ほ場への用水は、揚水機場～支線用水路～小用水路または、ため池～小用水路によりかんがいされているが、構造は土水路が大半である。営農上の維持管理の必要から、これまで土地改良区による局所的な装工・修繕が行われているものの、水路法面の浸食等による通水障害が度々生じており、用水管理及び施設の維持管理等に多大な経費を費やしている。

第2項 排水状況

〃

地区西側を縦断する形で北から南方向へ一級河川北上川が流れ、また、地区を横断する形で東から西方向に支流の間木沢川及び赤川が北上川に流下している。地区内の排水は小排水路からこれら支流に流入し北上川へ流出している。

本地区の排水路は、用排兼用水路となっており、水路底が浅い土水路のため排水能力が不足している。

第4節 営農の状況

専業別農家数及び平均経営耕作面積

2020年農林業センサス
2010年農林業センサス

項 目			専 業	第一種 兼 業	第二種 兼 業	計	一 戸 当 た り 平 均 経 営 耕 地 面 積	田	普通畑	樹園地	計	地 域 指 定 等
戸 数												
専 兼 業 別	紫 波 町	戸 数	- 302 戸	- 295 戸	- 901 戸	- 1,498 戸		2.6 2.70 ha	0.1 0.19 ha	0.2 0.75 ha	2.9 - ha	農業振興地域整備計画R5 農業振興地域整備計画S45
		割 合	- 20.2 %	- 19.6 %	- 60.2 %	- 100 %		90 - %	3 - %	7 - %	100 - %	〃 振興山村地域S45
	本 地 区	戸 数	- 8 戸	- 7 戸	- 28 戸	- 43 戸		- 1.00 ha	- 0.20 ha	〃 - ha	〃 - ha	〃 特定農山村区域H5 農業経営基盤強化促進基本 構想 R4
		割 合	- 18.6 %	- 16.3 %	- 65.2 %	- 100 %		〃 - %	〃 - %	〃 - %	〃 - %	〃 農業経営基盤強化促進基本 構想 H17

上段: 変更後
下段: 変更前

経営農用地広狭別農家数													2020年農林業センサス
区 分	総経営 体数	経営農用地広狭別農家数									耕地の分散状況		2010年農林業センサス
		経営 耕地 なし	0.3ha 未満	0.3ha ～ 0.5ha	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha 以上	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積	一経営体当たり 平均耕地面積
紫波町	1,661 1,608	- 46	- 104	- 191	- 376	- 274	- 186	- 210	- 111	- 110			2.9 ha 3.3

第5節 地域環境の概況

本地区は、紫波町中心部より東約2kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯である。地区内は田園的な景観を呈しており、土壌は主に灰色低地土、黒泥土、黄褐色土が分布している。気候は内陸型の盆地気候で冬季は比較的温暖で積雪量はあまり多くない。

周辺の森林は、スギ、アカマツ、カラマツ等の針葉樹やコナラ、ミズナラなどの広葉樹からなる。本地区周辺地域では希少植物としてエゾノミズタデの生育が確認されている。そのほかにカタクリ、フキノトウ、ヨモギ、タンポポ、スミレ等が全域に生息している。周辺の河川、ため池、水路にはコイ、フナ、ドジョウ等が生息している。昆虫類ではトンボやセミなど多くの昆虫類を見ることができる。

第6節 道路状況

本計画地区は、地区西側を南北に国道456号が縦断し、地区中央を県道紫波江繋線が東西に横断している。また地区北東側を南北に一級町道星山北田線、地区南東側を南北に二級町道星山大巻線が縦断し、それぞれ県道紫波江繋線に接続しており、本地区の幹線道路機能を果たしている。耕作道は区画整備済区域のほ場においては道路幅員4～5mであるが、未整備区域ほ場内においては、道路幅員が2～3mと狭く、大型機械化農業経営に支障をきたしている現状である。

第3章 基本計画

上段:変更後
下段:変更前

第1節 計画の要旨

〃

本計画において、用排水路の更新整備を行い、水管理や維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につな
げ、農業経営の安定化を図るものである。

計画事業量一覧

種 別		事 業 量	摘 要	
農業用排水施設整備	揚水機場	〃 1箇所	φ400 110KW ×2 Φ250 160KW ×2	
	用水路工 (管路工)	3,627 4,850 m	幹線用水路工 2,520m 3,200m 1,107m 支線用水路工 1,650m	FRPM700、VU450、VU350 FRPM900、FRPM600、VU400 VU450～350
	用排水路工 (開渠工)	1,627 1,654 m	FL1,400×800～500×500 FL1,100×800 - BF1,000	1,627m 832m - 822m
	用水路工 (開渠工)			

第2節 環境への配慮

〃

環境との調和への配慮として、ため池周辺に生育するエゾノミズタデの生育環境を損なわないように、ため池の改変を最
小限とする計画とする。

第4章 工事又は管理の要領

上段: 変更後
下段: 変更前

第1節 工事の施工計画

1. 工事は、全て県営事業により請負工事とする。
2. 施工は、農業土木工事共通仕様書による他、特記仕様書による。

第2節 管理の要領

施工後の諸施設の管理は、紫波東部土地改良区とする。

第3節 予定工期

令和8年度
平成26年度～平成31年度

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性（該当なし）

第2節 換地計画樹立の基本方針（該当なし）

第1項 従前地の地積の基準（該当なし）

第2項 農用地集団化の方針 [〃]（該当なし）

上段:変更後
下段:変更前

区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
〃	〃	〃	〃	〃
—	—	—	—	—

第3項 清算の方法 [〃]（該当なし）

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積 [〃]（該当なし）

（単位：ha）

用 途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
道 路	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —
水 路	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —
計	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —	〃 —

上段:変更後
下段:変更前

第4節 非農用地の換地方法 (該当なし)

(単位: m²)

換地区名	区 分	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m ²)	換地の手法	換地取得 予 定 者	その他
計							

上段:変更後

下段:変更前

第6章 費用の概算

単位:千円

項 目 事 業 名		総 事 業 費		負 担 内 訳			備 考	
当該事業 農地整備事業(経営体育成型) (農業用排水施設整備)		費 目	金 額	国費(50.0%)	県費(30.0%)	地 元 負 担(20.0%)		
						市町村(5%)	農家(15.0%)	
		事 業 費	748,000 468,000	374,000 234,000	224,400 140,400	37,400 23,400	112,200 70,200	
		工 事 雑 費		〃 —		〃 —	〃 —	
		事 務 費		〃 —		〃 —	〃 —	
		計	748,000 468,000	374,000 234,000	224,400 140,400	37,400 23,400	112,200 70,200	
当該事業 農地整備事業(経営体育成型) (農業用排水施設整備) 区画整理重複受益分		費 目	金 額	国費(50.0%)	県費(30.0%)	地 元 負 担(20.0%)		
						市町村(5%)	農家(15.0%)	
		事 業 費	663,000 708,000	331,500 354,000	198,900 212,400	33,150 35,400	99,450 106,200	
		工 事 雑 費		〃 —		〃 —	〃 —	
		事 務 費		〃 —		〃 —	〃 —	
		計	663,000 708,000	331,500 354,000	198,900 212,400	33,150 35,400	99,450 106,200	
合計			1,411,000 1,176,000	705,500 588,000	423,300 352,800	70,550 58,800	211,650 176,400	

上段: 変更後
下段: 変更前

第7章 効 用

区 分	項 目	農業用排水施設整備全体（千円）		農業用排水施設整備 〔単独受益分〕（千円）		区画整理〔重複受益分〕（千円）		備 考
		便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
食料の安定供給の確保に関する効果 作物生産効果		77,567	△ 4,575	36,738	983	40,829	△ 5,558	
		74,220	△ 4,644	33,779	△ 687	40,441	△ 3,957	
営農経費節減効果		208,538	233,812	57,812	63,312	150,726	170,500	
		125,371	126,604	15,966	15,966	109,405	110,638	
維持管理費節減効果		△ 9,228	2,263	△ 4,387	28	△ 4,841	2,235	
		△ 15,086	△ 7,173	△ 7,167	△ 3,477	△ 7,919	△ 3,696	
農業の持続的発展に関する効果 耕作放棄防止効果		〃				〃		
		0				0		
農村の振興に関する効果 非農用地等創設効果		10				10		
		7				7		
その他効果 国産農産物安定供給効果		17,347		8,426		8,921		
		-		-		-		
合 計		294,234	231,500	98,589	64,323	195,645	167,177	
		184,512	114,787	42,578	11,802	141,934	102,985	
総費用総便益比＝			1.15	(参考)	1.06	(参考)	1.21	
			1.13		1.08		1.14	

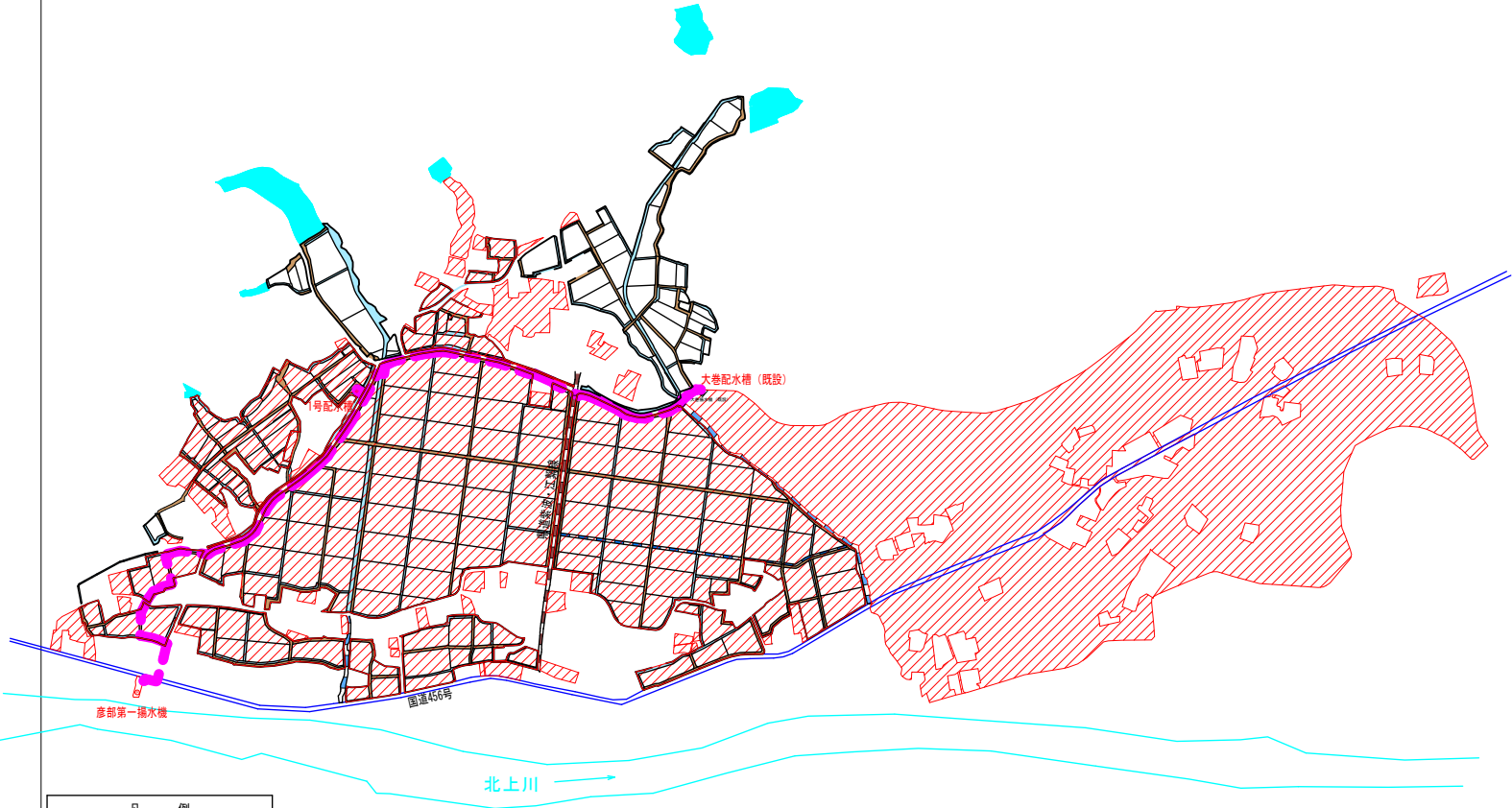
第8章 他の事業との関係

区分	事 業 名	事業主体	受益面積	工 期	事業費（百万円）	前年度までの 進 捗 率	事業との関連
異 種	農地整備事業（経営体育成型） （区画整理）	岩手県	106.7 ha 114.3	H26～R8 H26～H31	2,659 1,806	97 0 %	〃 重複受益

第9章 計画概要図

別 添

星山・犬吠森地区 計画一般平面図
(用排水施設整備)



凡	例
一定区域 (区画整理)	---
計画道路	
計画排水路	
道路既設利用	
排水路既設利用	
用排水施設整備区域	
創設非農用地	
幹線用水路	

